

私は、インターネットでの買い物をよくします。一番多いのは、本の買い物です。最近では、コンビニに商品をとりに行く制度や、自宅配達でありながら、送料無料というような、便利な制度が増えています。だから、わざわざ店に行き、欲しいものを探すという手間が省けるのです。こんな便利な制度はないでしょう。

また、インターネットオークションで商品を買うこともあります。インターネットオークションでは不用品から新品まで、出品されたものはさまざまで、欲しいものが見つからないことが無いというほどです。

このように、インターネットを使つての買い物が便利になっていることは間違いありません。だったら店なんて要らないのではないのでしょうか。工場と、商品を運ぶ人さえいれば、すべてインターネットで済んでしまうといえます。けれどそんな世の中には反対です。なぜなら、次のように考えるからです。

まず第一に、商品を手にとって選べない、ということです。私は以前、インターネットでサッカーチームのタオルを買ったことがあります。ワールドカップで舞い上がっていた私は、インターネットを開き、一番安いタオルを見つけました。そこには写真がついていましたが、私が欲しいものでした。そして、即座に買おうと決め、注文ボタンをクリックしました。それから2、3日後に宅急便がとどきました。中をあけてみると、自分が想像し

ていたものの半分の大きさです。そして、手触りがゴワゴワとしていました。写真と違う、と思つても、返却はできません。しかし、もし私が、近くのお店まで足を運び、そのタオルを自分の目で見て買っていたら、そのタオルは絶対買わなかつただろうし、他に良いものがないか比較できたと思います。また、インターネットオークションも買い物がしやすいように作られていて、たくさんの商品が並ぶわけですが、ここにもまた問題があります。インターネットオークションには、偽ブランド商品や、不良品もかまわず販売されているのです。そんなものでも、注文すれば、そこで終わりです。返品不可な商品が多いのです。売る側してみれば、買わせれば勝ちなのです。何かを買うとき、そのものが、どのようなものなのかをきちんと見分けるには、手にとって、目で見て確かめることが大切なんだと感じました。

次に、買うのが簡単のために、余計なものまで買ってしまうことです。たとえば本を買うとき。私は試しに、インターネットでの本販売をしているサイトにいき、本の検索欄に「国語」と入力してみました。すると、1万5,000冊の本がヒットします。「数学」と検索すると、2万5,000冊。「英語」では3万5,000冊です。これだけの本がヒットするのであれば、当然欲しい本がたくさんあります。これだけの量の中から選べるのは、利点ですが、欲張りな

私は、1冊買うだけでは気がすまなくなってしまう。欲しい本は1冊のはずが、気づいたら3冊も注文していたりします。そのときは必要と感じていても、それが実際必要なかった、というほうが多いように感じます。実際に書店に行けば、何冊も並ぶ本棚から、自分が欲しい本を探します。最初に欲しいと思っていた本より、もっと良い本があったら、そちらを選びます。苦労して探しだす1冊なので、失敗は少なく、1冊ですむことが多いのです。ですから、無駄がありません。

最後に、一番大切なことが欠けているからです。それは、お金の大切さを忘れかけてしまうことだと思います。私が欲しいと思うものはたくさんありますが、何でも手に入るわけではありません。去年の夏休み、私は花の栽培のアルバイトをしました。私のおじいちゃんは自営業をしていて、胡蝶蘭を栽培しています。苗を仕入れ、市場に出荷をするまでに多くの時間とお金と苦労がかかります。私がしたのは、そのごく一部ですが、苗の植え替えです。何万本もの苗を、小さなポットから、大きなポットへ移すのです。単純な作業の繰り返しですが、朝早くから夕方まで、ほとんど休むことなく働きます。終わり近くになると、手が真っ黒で、指紋がなくなったような指先になり、足ががくがくし、つかれきってしまいました。しかし、おじいちゃん達はこれの何倍もの苦労をしています。温室の温度は常に気にかけていなければならないし、水やりもかかすことはありません。どうしたらきれいな花が

咲くのか、肥料づくりの研究をし、年中無休で働きます。だからこそ、きれいな花が咲き、それを買ってくれるお客さんがいるのです。その大変さの一部を体験しただけでも、お金の大切さを感じることができました。そんな苦労が重なって得たお金を一度の思いだけで使ってしまうのは、おじいちゃんに悪い気がします。お金は働いて得るものです。もらったお金を使っている私は、お金の大切さをよくわかっていません。だからこそ、クリックだけで商品がとどく仕組みがこわいと感じます。

すべてのものをインターネット販売で済ませる世の中には反対ですが、これがない世の中もまた不便です。ですから、インターネット販売と上手い付き合い方を知ればいいと思います。私が思う上手い付き合い方は、欲しい商品があったらまず、ほんとうに必要なのかを考える。それはどのくらいの予算で、どんなものか知る。何軒かの店に自分の足で行ってみる。そこに行っても見つからなかった商品だけをインターネットで探す。その商品は、自分の頭の中のものと同じかをきちんと確かめる。オークションの場合、出品者に質問を試みる。とにかく、インターネット販売を最低限におさえ、やむをえない場合は、よく注意をして購入することだと思います。

これから増えるであろうインターネット上で取引では、これからますます注意が必要になると思います。けれどその仕組みをきちんと理解し、それをよきパートナーとして利用していけば良いのだと思いました。